

山門水源の森を次の  
世代に引き継ぐ会

長年のご協力ありがとうございました



2002 年 3 月 21 日に北部湿原の 100 m<sup>2</sup> で試行的に復元作業を開始してから 8 年が経過しました。7 月 10 日、淡海森林クラブのみなさんや地元の方・滋賀県職員と本会会員で中央湿原に残っていた刈り払いして積み置きしたものをバケツリレーで湿原外に運び出しました。この運び出しで復元作業は完全に終了しました。この間ご尽力頂いたみなさん本当にありがとうございました。





作業前



作業後

### 安藤サワラン付属湿地で咲く

山門集落の安藤氏（山門集落の外れにあった湿地から 40 年近く前に採取



された 1 株から増殖されたもの）が栽培されているサワランを貰って、バルブの大きいものは付属湿地に植栽し、小さいものはプランターで育種を行っています。植栽したものは見事に開花し、緑の中のハッチョウトンボとサ

ワランのコントラストがなかなかのものでした。育種中のもも順調な生育状態が続いています。このサワランは、山門湿原のものではないので DNA 鑑定（何時になるか分かりませんが）ができるまでは湿原への植栽は行いません。

**観察コース整備** 夏場は何処も草刈のシーズン。例年以上の降雨も加わって整備の必要な箇所は多い。この 1 ヶ月は、沢コースとブナの森コースの整備に力を入れています。沢コースは夏場には最適で、試行的に利用しているがなかなか好評です。ただガイド無しでの利用は、万一のこともあり推奨はできません。

ブナの森コースの整備は、『中窓』（「守護岩」の南側）の新設と「スミレサイシン保護区」の設定に加えてコース沿いの草刈を行っています。『中窓』は、枯死木伐採と数本の除伐で正面に



沢コースの滝(10/07/15)



伊吹山が見える「中窓」(10/07/01)

伊吹山が眺望出来ます。涼風が吹き上げ涼をとるのにも最高のロケーションとなりました。

ブナの森コース沿いには、これまで「オオイワカガミ」・「トクワカソウ」の保護区を設定していますが、今回スミレサイシンの保護区を設定しました。この場所は「大窓」と「守護岩」の間の凹部（南斜面）です。倒木や枯死木が集中してギャップ（大きな樹の無い部分）で、スミレサイシンが以前から比較的密集して分布していました。ここ数年ササ類が分布を拡大し、スミレサイシンが減少してきました。そこでもとのギャップ状態を取り戻す作業を行いました。期待通りスミレサイシンが分布を拡大するかどうか来春以降が楽しみです。



スミレサイシン保護区(10/07/15)



スミレサイシン(10/04/14)